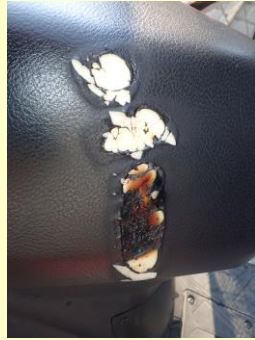


緊急告知

収れん火災が複数発生

平成27年に発生した収れん火災の参考写真

1 ステンレス製の看板に太陽光が反射し、駐車中の原動機付自転車のシートが焼損した火災。



2 凹面の形をした鏡に太陽光が反射し、ティッシュペーパーの箱が焼損した火災。



収れん火災について

収れん火災とは、太陽からの光が凸レンズや凹面鏡およびこれらと同じ作用をする物体により反射または屈折し、これが1点に集まることで可燃物を発火させる火災です。また、収れん火災は、太陽の位置、気象条件、収れんを起こす物体の向き、可燃物の位置などの諸条件を全て満足することが必要で、偶発性の高い特異な火災です。本市消防局では、過去15年間に7件発生しています。（平成27年には、すでに2件発生しています。）

■ 収れん火災を起こす恐れのある物体

- | | |
|------------|---------|
| ①凹面鏡 | ⑥ペットボトル |
| ②ステンレス製ボウル | ⑦老眼鏡 |
| ③ルーペ | など |
| ④金魚鉢 | |
| ⑤ガラス球 | |

いずれも身近なものばかりです



収れんを起こす恐れのあるボウルとペットボトル

■ 収れん火災が発生しやすい時期

収れん火災は、猛烈な日差しの夏の暑い日に発生しやすいと思われがちですが、季節・朝夕の時間を問わず一年を通して発生しています。その中でも冬の方が、夏に比べて太陽の高度が低いため、太陽光がより室内奥に差し込みやすいため、収れん火災が多く発生しています。

■ 収れん火災を防ぐには

屋外の場合

- ①直接日光が当たらないよう覆いをする。
- ②反射しない素材を使用すること。

屋内の場合

- ①直射日光の当たらない場所に置くこと。
- ②外出時はカーテンを閉めて室内に直射日光を入れないこと。